



eスポーツ酒場の開催 ～昭和庁舎の壁面で大画面プレイ！～

群馬県 産業経済部 戦略セールス局 eスポーツ・新コンテンツ創出課

株式会社 INOKOMAX が主催し、群馬県の共催による「eスポーツ酒場」が、令和4年10月21日(金)に昭和庁舎前の県民広場で初めて開催されました。

■ eスポーツ酒場とは

今回実施したeスポーツ酒場は、昭和庁舎の壁面をスクリーンに見立て、プロジェクターを用いてゲーム画面を投影することで、大画面で迫力あるeスポーツ対戦や観戦を来場者を楽しんでもらうイベントです。

発案者は、主催者の仕事仲間で太田市出身の放送作家である、岐部昌幸さん。ご自身が手掛けるテレビ番組の企画の中で、「群馬県庁の壁面を利用してプロジェクションマッピングを活用したeスポーツ実況を行う」といったプレゼンを行い、実際に実現できないか、と群馬県に相談があったことが、今回のイベントのきっかけとなりました。

イベント当日は、キッチンカーによるアルコールを含む飲食の提供もあり、県民広場に集まった参加者は、設置した立ち飲みスタンドで食事を楽しみながら、「ぷよぷよ」や「魔界村」といったタイトルのeスポーツ対戦や観戦を満喫されていました。

群馬県 HP「eスポーツ酒場を開催します」

URL : <https://www.pref.gunma.jp/page/100108.html>

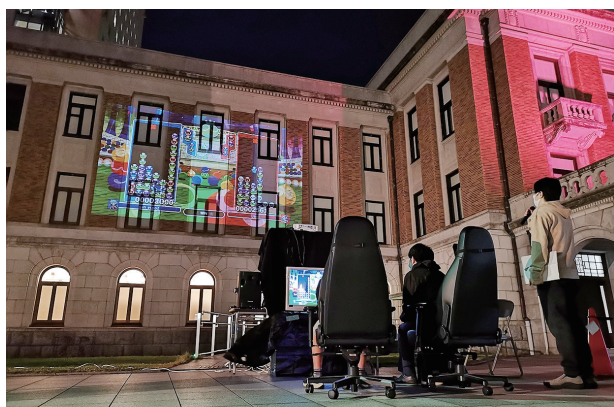


「eスポーツ酒場」フライヤー

■ 思いがけない反響と改めて感じたeスポーツのポテンシャル

行政庁舎にゲーム画面を投影するようなイベントは、全国初の試みであったため、広報のために発信したTwitter投稿には、100件を超えるリツイートがあるなど、多くの反響があり、eスポーツ業界内でも話題になったという話も聞こえてきています。

平日の夕刻からの開催でしたが、会場には、前橋市内の企業や商店街関係者のほか、県内各地からもeスポーツファンが駆けつけ、中には都内から来たという企業参加者もあり、改めて、今回のイベントの注目度の高さがうかがえる形となりました。家族で参加されていた県庁近くに住んでいるという方からは、「こういったイベントが日常的に開催されてほしい」といった嬉しいご意見をいただくこともできました。



昭和庁舎の壁面にゲーム画面が！

また、イベント実施後には、「自分たちでも同じように実施してみたい」といったご相談をいただくこともありました。今回のイベントは、ゲーム機とプロジェクター、投影する壁さえあれば、簡単に実施できますので、今回をモデルケースとして、県内で同様のイベントが増え、eスポーツの普及が更に進むのではないかと期待をしております。

今回のイベントでは、eスポーツが、まちなかの賑わい創出のツールとして活用できることの実証に繋がったと感じています。若い世代を中心に高い訴求力があると言われていたeスポーツが、まちなかの課題を解決する切り札として、広く活用される日もそう遠くはないでしょう。